



第34号

2019年1月7日発行



学校法人 大阪成蹊学園

発行：広報企画本部 広報企画部
〒533-0007 大阪市東淀川区相川3丁目10番62号
TEL:06-6829-2606 http://osaka-seikei.jp

大阪成蹊大学
マネジメント学部 国際観光ビジネス学科

カナダ・バンクーバー 海外研修

2018年4月にスタートした国際観光ビジネス学科。英語力と国際的な視野を身につけ、将来グローバルに活躍することをめざす国際観光ビジネス学科では、1年次に短期海外研修、2～3年次に長期海外留学と、2度の留学を経験できる「STEP留学」というプログラムを取り入れています。2018年8月～9月、1期生がカナダ・バンクーバーでの短期海外研修に参加しました。その様子をお届けします。



入学して初めての夏季休暇。国際観光ビジネス学科の1年生たちは2つのグループに分かれ、関西国際空港よりカナダ・バンクーバーに向けて出発しました。

研修期間中は「Eurocentres Vancouver (ユーロセンター・バンクーバー校)」に入学し、英語を学びます。ヨーロッパをはじめ、カナダ、オーストラリアなど世界各国に多くの校舎を持つ語学学校で、様々な国の留学生が語学を学んでいます。学生たちは初日にテストを受けて習熟度別のクラスに分かれ、世界各国の留学生たちとともに3週間、ネイティブ教員による授業を受講しました。毎日の授業はもちろんオールイングリッシュ。クラスメイトとの会話を中心に授業が展開されます。教員から与えられたテーマに沿ってディスカッションを行うことで、相手の意見を理解し、自分の意見を英語で伝える力を鍛えました。

滞在中は一般家庭で過ごし、ホストファミリーと食事を共にして毎日会話を交わすことで、日々の生活の中でも英語力を磨くことができました。授業のない週末には、バンクーバー市内や観光スポットを自由に散策し、異国の風景を楽しみながら現地の文化や習慣に触れました。

3週間のカナダでの生活を通して、それぞれの学生が自身の英語力と向き合い、学び、スキルアップできた有意義な研修となりました。帰国後は現地での経験について英語でプレゼンテーションを行う「英語スピーチコンテスト」のための準備をしたり、研修内容を振り返りながら、それぞれが今後の課題と目標を共有しました。2～3年次の長期留学、そして将来の夢に向かって、高いモチベーションで今日も学びに取り組んでいます。



▲語学学校では各国の留学生とともに学ぶ

短期・長期 2度の留学で、「なりたい自分」へSTEP。大阪成蹊大学独自のプログラム「STEP留学」

2度の留学で、
4年間を駆け上がる。
**STEP
留学**

1年次

3週間の短期海外研修で、
4年間の目標を見つける

カナダ・バンクーバーで語学学校での学びやホームステイにトイ。入学後早い段階で留学を体験することで、現在の自分の力を知ることができます。帰国後は留学体験をふりかえり、今後の課題や目標を明確にします。

2年次

次の留学を見据えて英語力を磨き、
専門分野に取り組む

少人数・習熟度別の授業や、「英語教育センター」におけるネイティブ教員の指導で英語力のレベルアップを常に意識。TOEIC対策講座+受験でスコアアップをめざします。また2年次からは各コースの専門的な学びが深まります。

3年次

長期海外留学で英語はもちろん、
専門分野の学びにも挑戦

2～3年次には最大8ヶ月間の長期留学に挑戦(希望者全員)。英語圏を中心とした7カ国から留学先を選べます。英語だけでなく、ビジネス・観光などの専門分野を学び、現地企業のインターンシップに参加することもできます。

4年次

ビジネスで通用する英語力と
専門性を身につけ、めざす世界へ

着実なステップアップで、英語でのプレゼンテーションやTOEIC730点以上をめざします。就職部による個別のサポートで、培った英語力と専門的な学びを発揮できる世界へSTEPしましょう。

■短期海外研修

時期 1年次夏季休暇中(8～9月)の約3週間

留学先 カナダ・バンクーバー

奨学金 現地での授業料・滞在費・渡航費の全額を奨学金として大学が全員に支給。
※バスポート・ビザに関わる費用、現地でのお小遣いなど一部自己負担が必要

■長期海外留学制度

時期 2年次後期試験終了後(2月)から3年次後期授業開始(9月)までの最大8ヶ月間

奨学金 留学期間にあたる3年次前期授業料相当額を、奨学金として留学生全員に支給。※個人的な事情等により、留学期間が規定に満たない場合には奨学金の適用はありません

長期留学先の例

<ビジネス関連の専門が学べる>

- カナダ: Van West College (バンクーバー)
- アメリカ: University of California, San Diego (サンディエゴ)
- アメリカ: University of California, Irvine (ロサンゼルス)
- イギリス: Anglo-Continental (ボーンマス)
- マルタ・アメリカ・カナダ・イギリス: EC
- フィリピン: CDU ESL (Cebu Doctors University ESL Center)

<観光関連の専門が学べる>

- ニュージーランド: Worldwide / New Zealand School of Tourism (オークランド)
- アメリカ: Kaplan international College / Highline College (シアトル)
- カナダ・アメリカ・イギリス: St. Giles

<職場体験・インターンシップが可能>

- アメリカ: Skyus (サンディエゴ)
- アメリカ: ICC (ハワイ)

<ビジネス・観光から選べる>

- カナダ: Canadian College of English Language / Canadian College (バンクーバー)
- カナダ・オーストラリア: Greystone College / ILSC (バンクーバー/ブリスベン)

研修に参加した学生の声



カナダで「生の英語」を体感 海外で働きたいという意欲が強まりました

大阪成蹊大学 マネジメント学部
国際観光ビジネス学科 国際キャリアコース1年
泉森 康平さん

英語圏の国を訪れたのは今回が初めてで、うまく話せるか不安もありましたが、想像していたよりも積極的に話すことができ、自信につながりました。クラスメイトは皆気さくに話しかけてくれて、好きな音楽の話で盛り上がり、自由時間の過ごし方について話したりなど、授業以外でも

多くの機会をとらえて英語に慣れることができました。

ネイティブの話し言葉ならではの表現や、単語と単語をつなげて話す発音、会話のスピードなど、普段日本で英語を学んでいるだけではなかなか触れられない「生の英語」をたくさん体感できたのがよかったです。ホームステイ先の家族とも毎日夕食を一緒に食べ、その日の出来事や現地での生活について、色々英語で話すことができたので満足です。週末には、色々な所へ散策やショッピングをして楽しめました。バンクーバーの美しく開放的な街並み、人々の暮らしに触れ、いつか海外で働きたいという思いがますます強まりました。

将来は通訳関係の仕事に興味があるので、単純な英語力だけではなく、相手の言いたいことを理解し、正しく伝える英語コミュニケーション能力を磨きたいです。2～3年次の長期留学ではイギリスに渡り、アメリカやカナダとは異なる「イギリス英語」の発音や表現を学んでさらにスキルアップをめざすつもりです。



▲バンクーバーの街並み

あらゆる国の人たちと、英語で自分の 思いを語り合う貴重な体験ができました

大阪成蹊大学 マネジメント学部
国際観光ビジネス学科 観光ビジネスコース1年
原田 理沙さん



ユーロセンターでの授業はグループディスカッションがメイン。日常的なことから、銃規制、徴兵制度などの比較的難しいテーマについて話すこともありました。クラスにはイタリア、メキシコ、ブラジルなど様々な国の留学生がいたため、異なる政治的・文化的背景から興味深い意見をたくさん聞くことができました。ディスカッションでは単に英語を話すだけでなく、自分の意見とその根拠を、論理立てて話す必要があります。この経験を通して、スピーキング、リスニングとともにより鍛えられたと感じます。

またホームステイ先には私以外にも様々な国の留学生が4人いて、会話する機会がたくさんありました。しかし、知っている単語の数が増えれば、自分の考えを的確に伝えられるのに…と歯がゆい思いをすることもあったので、帰国後は語彙力の強化にさらに力を入れるようになりました。



▲語学学校のクラスメイトたちと

将来は大好きな芸術と観光に関わる仕事がしたいです。最近ではアートの島として知られる「直島」のように、芸術と観光が組み合わさった場所が注目を集めています。そういった場所に観光客を誘致し、芸術と地域の振興に貢献できるような仕事ができれば、と考えています。近年は外国人観光客が非常に多いので、英語もしっかり身につけておきたいです。

大阪成蹊学園



大阪成蹊学園のピアノ教育

大阪成蹊学園では、大阪成蹊大学 教育学部、大阪成蹊短期大学 幼児教育学科、そして大阪成蹊女子高等学校 幼児教育コースにて、教育・保育の場を志す多くの学生・生徒が学んでいます。
教育・保育の現場で重要視されているもののひとつが音楽教育です。多くの子どもたちにとって、幼稚園・保育園は物心ついてはじめて音楽に親しみを持つ場であり、そこで行われる音楽教育はその後の発達に対して大きな影響力を持っています。そのため、幼稚園・保育園・小学校の教諭

をめざす上では、弾き歌いをはじめとするピアノの演奏技術を身につける必要があります。
本学園では、子どもたちに美しい音楽を聴かせ、楽しさを教えることのできる人材の養成を目標とし、「音楽教育センター」を中心に各校でのピアノ教育を推進しています。充実した体制と設備のもとで、初心者でも安心してスキルアップしていけるような環境を整えています。

Point 音楽教育センターを中心とした充実のピアノ教育体制

大学・短期大学・高等学校でのピアノ教育は、音楽教育センター主任研究員、講師※、ティーチングアシスタントを含む合計約60名の指導陣によって行われています。音楽教育センターには主任研究員が常駐し、学生がいつでも訪れて相談できるようになっています。
※常勤・非常勤含む

Point 豊富なピアノ教育設備

大学・短期大学には113台のピアノ、101のレッスン室・個人練習室があり、授業時間外でも自由に利用できるため、自宅にピアノがない学生も安心して練習に取り組みます。高等学校にも2つのピアノ教室に61台のピアノを備え、レベルに合わせたレッスンを行っています。

Point 独自の「ピアノグレード制度」による段階的な学習

高校から大学・短期大学までを通して、独自のカリキュラムによる「ピアノグレード制度」を設け、初心者・経験者それぞれのレベルに合ったグレードから練習を始めます。常に上達具合を確認し、卒業までに教育・保育現場で必要なピアノ演奏、弾き歌いのスキルが段階的に身につきます。また、一人ひとりの演奏到達度を教員がカルテに記載し、進度を把握しています。

Point ピアノ初心者テキスト

本学園独自のプライマリーテキストを用意。初心者でも安心してピアノ学修を始められます。また幼稚園・保育園などで歌われる曲をまとめた「こどもが大好きなうたの本」を発行。授業はもちろん、多くの保育園・幼稚園でも音楽教育や行事に使われています。



Point 演奏発表の機会の設定

学生が出演するランチタイムコンサートに年に数回開催しています。またピアノ曲部門と弾き歌い部門それぞれで上位者を決める大規模なピアノコンペティションを開催するなど、成果を発揮する場を設けることで、高いモチベーションで練習に取り組みます。



Point 教員採用実技試験対策

自治体ごとに課題が異なる教員採用試験。本学では、ピアノ・弾き歌いの実技試験のための対策講座を開講しています。



学生の声



大阪成蹊短期大学 幼児教育学科2年
久徳 柚佳さん

ピアノグレードが10段階以上アップ！

私はピアノ演奏に blanks がありましたが、ピアノグレード制度により目標が設定できて、効率的に練習を進めることができました。入学時は一番最初の「1-a(導入)」のグレードからスタートして、現在は「10(ソナチネ)」までステップアップ。成長が目に見えるので、モチベーションにも繋がります。
また、個人レッスンも充実しています。保育実習の前には、実習先の園で必要になる弾き歌いの練習を見ていただきました。在学中に身につけたスキルを今後さらに磨いて、保育者としての将来に役立てたいと思います。

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

関西観光教育コンソーシアム 学生活動成果発表会

大・短
ダブル受賞！

大阪成蹊短期大学 最優秀賞 / 大阪成蹊大学 優秀賞

— 関西の観光系学部・学科の学生が、学びの成果を発表 —

一般社団法人関西観光教育コンソーシアムが主催する「関西観光教育コンソーシアム 学生活動成果発表会」が2018年9月7日(金)に開催され、大阪成蹊短期大学、大阪成蹊大学の学生が最優秀賞と優秀賞を受賞しました。

関西地区の観光関連の学部・学科で学ぶ学生が一堂に集い、日頃の学修や研究の成果を発表するこの発表会は、今回4度目の開催となります。当日は大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学を含む7大学が参加しました。

大阪成蹊短期大学からは、観光学科2年の高橋萌さんが発表を行いました。高橋さんは2018年2～3月にカナダ・バンクーバーに留学した際、現地の観光名所や街の特色などに着目。現地での調査にもとづいて、カナダの旅行商品を企画しました。ツアーの行程表やみどころ、留学中に撮影した写真をまとめた発表資料は「わかりやすい」と好評でした。

一方、大阪成蹊大学からは、マネジメント学部マネジメント学科観光ビジネスコース2年の木村早希さんと村井美穂さんが発表を行いました。観光ビジネスコースでは、産学連携事業の一環として、2018年5月に関西国際空港で開催された「関空旅博2018」の運営に参加しました。2人はその際に感じた来場客の様子などからイベントの改善点を考え、イベントの開催を通じてさらなる誘客を行うためにはどのようにすればよいのかを提案しました。

全大学の発表終了後、大手旅行会社など業界の専門家による厳正な審査の結果、高橋さんの発表が最優秀賞、木村さんと村井さんの発表が優秀賞に決定しました。株式会社近畿日本ツーリスト関西大阪教育旅行支店の小野高明氏から、それぞれの学生に賞状と賞品が贈呈されました。

その他の出場大学からも学生ならではのユニークな視点にもとづいた提案や取り組みが発表され、学生たちにとって、大学における「観光」の学びの広がりを実感する貴重な経験となりました。観光業界の関係者の方々から直接アドバイスをいただくこともでき、産学間の交流・連携を深める機会にもなりました。



▲学生の発表の様子



▲株式会社近畿日本ツーリスト関西 大阪教育旅行支店 小野 高明氏



▲高橋 萌さん



▲村井 美穂さん(左)・木村 早希さん(右)

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

「大阪成蹊カップ」 プレゼンテーション大会 開催!

—学生が企業の課題解決に挑戦!個性豊かな企画を発表—

2018年9月12日(水)相川キャンパス図書館棟7階ホールにて、第2回「大阪成蹊カップ」プレゼンテーション大会が開催されました。
マネジメント学部と芸術学部の2年生は「キャリアデザイン2」の授業において、企業から提示された課題に対してチームで解決策を考える企業連携PBL(Project-Based Learning:課題解決型学習)を行っています。この大会では、企業に対してプレゼンテーションを行った企画を、学部の垣根を越えて学内で発表することで、完成度を競い、それぞれの成果を共有します。

発表された企画

マネジメント学部 マネジメント学科 経営コース 提携企業:株式会社オーシン 「魅力的な会社案内の企画」	マネジメント学部 スポーツマネジメント学科 提携企業:シュライカー大阪 「プロフットサルリーグの集客企画」	芸術学部 造形芸術学科 マンガ・デジタルアートコース 提携企業:J:COM 「若い層の加入促進を目的としたプロモーション案」
マネジメント学部 マネジメント学科 食ビジネスコース・観光ビジネスコース 提携企業:dricco着物 「京都河原町 kimonoツーリズム企画」	芸術学部 造形芸術学科 ビジュアルデザインコース 提携企業:J:COM 「若い層の加入促進を目的としたプロモーション案」	芸術学部 造形芸術学科 イラストレーションコース 提携企業:J:COM 「コミュニティチャンネルの視聴者数の増加」



▲オリジナルの絵本を使って企画内容を実演

当日は、各学部での最終プレゼンテーションで特に優秀な成績をおさめた代表6チームが舞台上に上がり、発表を行いました。7階ホールに加え、北館300大教室にも中継を行い、3学部からあわせて600名の1年生が観覧しました。

それぞれのチームが準備してきたスライドをもとに、舞台上で堂々とプレゼンテーションを行っていきます。提携企業にとってのメリットだけでなく、社会全体としてのメリットも含めて考えた企画など、魅力的なアイデアが相次ぎました。時折審査員からは厳しい質問も投げかけられましたが、学生たちはそれらにも懸命に答えていました。

全チームの発表が終わった後は、教員による審査が行われます。「企画の内容が充実しているか」、「実際に実現は可能か」、「今までにない新しい企画か」などの様々な観点から、それぞれの企画を比較しました。

その結果、最優秀賞には芸術学部造形芸術学科イラストレーションコースのチーム、優秀賞には同学科ビジュアルデザインコースのチームが選ばれました。

「幼稚園でのイベントを題材にした特集番組」で視聴者数を獲得する企画を立案

最優秀賞のイラストレーションコースは、ケーブルテレビ局の「J:COM」との企業連携PBLに取り組みしました。J:COMから提示されたのは、「コミュニティチャンネル(地域に密着したオリジナル番組などを展開するチャンネル)の視聴者数を増加させたい」という課題。これに対してイラストレーションコースの学生が企画したのが、「幼稚園へ出張イベントを行い、その様子を撮影して番組にする」というアイデア。学生たちはイベントの例として絵本の読み聞かせなどを挙げ、企画書をもとに番組内容を説明しました。

子どもを題材とした特集番組にすることで、親世代の視聴率を獲得することももちろん、社会からのJ:COMそのものの企業イメージを向上させることができる、というメリットを挙げました。また学生たちはこの企画を発表するにあたり、実際に「J:COM」のキャラクター「ざっく」を取り入れたオリジナルの絵本を制作。絵本をはじめ、日頃様々な媒体での作品制作を学んでいるイラストレーションコースの学生ならではの魅力的な一冊に仕上げました。プレゼンテーションではこの絵本の読み聞かせを実演したことで、番組のイメージや魅力を伝えることに成功。こうした発表方法の完成度の高さも評価され、見事最優秀賞に輝きました。

各受賞チームには、武蔵野学長より表彰状と奨学金が授与されました。学生たちは、「大勢の前で企画をプレゼンテーションするという貴重な経験ができました。緊張しましたが、将来企業で働く上で役に立つと思います」と感想を述べ、達成感いっぱいの面持ちで会場を後にしていました。

本学では「大阪成蹊カップ」のほかにも 学びの成果を発表する 様々な機会が設けられています。

めざせMaestro! 大阪成蹊学園ピアノコンペティション

教育者・保育者を志す学生たちは、現場で重要とされる豊かな音楽教育を実践するため、日々ピアノのスキルアップに努めています。ピアノコンペティションは、演奏を発表する機会を設けることでモチベーションを高めるとともに、多くの人の前で演奏する経験を通して、実践的な音楽表現力を獲得することを目的としています。

卒業論文発表会、卒業制作展、 ファッションショー、卒業作品展

4年間／2年間の学びの成果は、卒業研究・卒業制作に集約されます。学生たちは卒業研究・卒業制作を全学的に発表、または展示することを通して、大学・短期大学で何を学び、どのような知識やスキルを身に付けたかを確認します。卒業論文発表会では成果物の内容だけでなく、プレゼンテーションや質疑応答の完成度も選考基準となります。

英語スピーチ/暗唱コンテスト

英語の暗誦や発表によって英語力や国際性を養いながら、自分の考えを整理して伝える力を鍛えます。「英語暗誦部門」では、課題として与えられた英語スピーチを披露。いかに表現力豊かに、自分の言葉として話すことが出来るかが重視されます。「英語スピーチ部門」では、海外研修で学んだことや経験などについてスライドをもとに英語でプレゼンテーションします。英語表現力だけでなく、発表内容も評価されます。

読書コンクール

本から得た知識や感動を文章にする「読書感想文部門」、客観的な視点で本の内容を批評する「書評部門」、文章やイラストを使って本の魅力を表現するPOPを作成する「POP部門」の3部門でコンクールを行います。物事を深く考え、自分の考えを正しい日本語で表現できる力を養います。



大阪成蹊大学

学びの結晶が
つまった展示会

3rd Grade Exhibition

「大阪成蹊 芸術祭」初開催！

芸術学部 全8コースの3年生作品を一挙公開！



芸術学部では2018年10月6日(土)・7日(日)に、初の「大阪成蹊芸術祭」を開催しました。

これまで各コースでは、3年生の作品を学外展示場で公開する「3年生展」を個別に開催していましたが、今年からは個々の展覧会終了後に、全コースの展示を学内に集めて展示することとなりました。それがこの「芸術祭」です。当日は、芸術学部棟(南館)に個性的な作品が所狭しと並び、どこから見るか迷ってしまうほど。保護者や地元住民の皆様をはじめ、たくさんの方にお越しいただきました。

建物に入ってすぐの廊下では、ビジュアルデザインコースのポスター作品が目立ちます。様々な社会問題や自分たちの想いを、絵や写真・CGで表現したポスターの中には、思わずハッとさせられるような鋭いメッセージもありました。

奥の展示スペースには、美術コースの洋画・日本画・染色作品や、イラストレーションコースの鮮やかで可愛いイラスト・絵本作品が壁一面に並びます。アニメーション・キャラクターデザインコースのエリアには、3Dモデリングによるキャラクターデザインや、ゲームデザインが画面に映し出されていました。そして会場中央には、テキスタイル・ファッションデザインコースの学生が制作した衣服が展示されています。複数ある衣服はどれも全て白一色。布の動きや素材で変化がつけられており、一つひとつ雰囲気が異なります。

傍らに並んでいる家具の数々は、インテリア・プロダクトデザインコースの作品。プロダクト系の学生は「水」をテーマに家具作品を実作しました。船のスクリューのような形のベンチや、噴水をイメージしたハンガーラックなど、機能性はもちろん見た目にも面白い作品が並びます。一方インテリア系の学生は、住宅や公共施設の模型をデザイン。自然に囲まれた住宅の模型や、都市の街並みの中に作られたオアシスなど、細部までこだわった模型とアイデアに、来場客は興味津々でした。

表現教育コースは、共同制作による作品を展示しました。自分たち、父母世代、祖父母世代、それぞれの「20歳」の時に着目した体験型の展示ブースには、各世代の服やアクセサリが置かれ、写真を撮って楽しめるようになっています。学生から保護者まで様々な世代の来場客が訪れる中、「流行していた言葉」を付箋に書くコーナーでは、当時を懐かしむ姿が見られました。

建物の奥へ進むと、マンガ・デジタルアートコースの展示部屋があります。最先端のデジタルツールを用いて描き出されたキャラクターイラストの数々は、一つひとつが異なる世界観を持っています。ひときわ目を引く天井まである大型のパネルには無数のイラストが散りばめられ、多くの人が足を止めて見入っていました。

出入口近くで特に大勢の人だかりができていたのが、「ART&DESIGN SHOP」のコーナー。学生たちの作品を一般の方が購入できる店舗、という新しい試みです。アクセサリや漫画、衣服など、学生の専門スキルが生かされたバラエティ豊かな商品に、多くの来場客の方が足を止め、手にとる姿が見られました。

初開催の「大阪成蹊 芸術祭」、多彩な分野の学びを展開する芸術学部ならではの盛りだくさんの展示内容で、来場客はもちろん学生にとっても大きな刺激となったようでした。

PHOTO REPORT — 当日の様子を写真でお見せします —



大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

就職活動最前線!

内定者インタビュー

昨年就職活動を終えて内定を獲得した大学4年生、短期大学2年生に、就職活動のエピソードや春からの新生活人生活に向けた意気込みをお聞きました。就職活動を控えている学生の皆さんはぜひ参考にしてみてください。



大阪成蹊大学 マネジメント学部
マネジメント学科 経営コース 4年
野元 和也さん
北おおさか信用金庫 内定

人と話すことが好き。 様々な経営者の方と関わり合う 業務に挑戦したいです

高校生の頃から企業の経営やお金の流れに興味がありました。就職活動を開始して金融関係に目を向けるようになり、学内企業説明会で北おおさか信用金庫の説明を聞いた際、銀行の業務内容が想像していたよりもずっと多様で面白そうだと感じたため、エントリーしました。面接では接客業のアルバイトで得たコミュニケーション能力と、高校・大学と打ち込んできたスポーツで培った忍耐力の2つを軸に自己PRをしました。

人と話すことが好きなので、様々な人と接しながら働きたいと考えています。ゆくゆくは、「渉外」(＝お客様を訪問し、個々の資金ニーズに対してきめ細かい金融サービスを提供する銀行業務)に挑戦してみたいです。お客様の要望をしっかりとヒアリングでき、たくさんの人に親しまれ頼られる存在になれるよう頑張ります。

Y 先輩へのアドバイス

面接では型にはまった答え方をしてしまいがちですが、自分の言葉で話すこと、普段通りの「素」を出すことが大切です。また、インターンシップは志望業界以外のものであっても積極的に参加するとよいと思います。



大阪成蹊大学 芸術学部造形 芸術学科
アニメーション・キャラクターデザインコース 4年
笠間 結花さん
株式会社京都アニメーション 内定

夢だったアニメーションの仕事。 素の自分をぶつけ、高倍率の 採用試験を通過できました

高校生の頃から大好きなアニメ関係の仕事に就きたいと思っていました。就職活動では、ポートフォリオ作成のコツやスケジュールについて、学部の先生や先輩に細かくアドバイスをもらいながら、良いペースで進めることができたと思います。内定先はアニメーション会社では珍しく就職説明会を開催していたので行ってみたいところ、昔ながらの手書きでアニメーションを制作するスタイルが私の希望に合っていたため、エントリーしました。

面接ではリラックスして素の自分をぶつける事ができたこともあってか、500人のうちの4人に残ることができました。業界大手の京都アニメーションに自分が受かるとは思っていなかったのが嬉しかったです。将来は作画監督やキャラクターデザインも手がけたいので、頑張ります。

Y 先輩へのアドバイス

先生・先輩・就職部の方からのアドバイスをインプットした上で、自分なりの意見を持ってください。作った自分を見せても入社後にギャップが大きくなるだけなので、本音をぶつけて受け入れてくれるような「自分に合う企業」を探してほしいです。



大阪成蹊短期大学 観光学科 2年
岩元 愛里さん
京セラ株式会社 内定

当初の志望業界から方向転換。 学科での経験が面接で 役立ちました

当初はホテルなど観光業界を中心に検討していましたが、就職活動が進む中で様々な企業について知る機会が増え、観光業以外の仕事にも興味を持つようになりました。就職活動は、「自分が本当にやりたい仕事は何か」「どういう風に働きたいのか」ということと真剣に向き合う機会です。京セラ株式会社に興味を持ったのは、学内企業説明会で話を聞いたことがきっかけでした。

観光学科はサービス・接遇について学ぶ授業があり、プレゼンテーションなど人前で話す機会も多い学科です。業界は異なりますが、それらのおかげで堂々とした姿勢で面接に臨むことができたと思います。私は、面接で質問されてうまく答えられなかったことや、もっとこう言えばよかったなどの反省点は必ず振り返り、次の面接に役立てるようにしていました。どんな良い経験でも、話し方や言葉の選び方次第でうまく伝わらなくなってしまうので、後悔しないために練習は重要です。現在は業務に備えてPCスキルをさらに高めるべく勉強中です。

Y 先輩へのアドバイス

就職部ではエントリーシートの添削だけでなく、エントリーする企業選びや業界研究までもでも相談にのってもらえます。私のように途中で志望業種を変えた場合でも、親身になって考えてもらえたので安心でした。視野を広く持って就職活動に臨んでください。



大阪成蹊短期大学 調理・製菓学科 製菓コース 2年
中尾 彩夏さん
株式会社ロイヤルホテル(リーガロイヤルホテル)内定

気になるお店をあちこちリサーチ。 ここだ!と思えたところに 内定をいただくことができました

子どもの頃からパティシエになりたいという思いが強く、就職活動の時期にはネットで気になるお店やホテルを探して、実際に色々な所に足を運びました。3ヶ月かけて訪問した様々なお店の中で、「ここで働きたい!」と思えたのがリーガロイヤルホテルだったので、内定をいただいて本当に嬉しかったです。

就職活動で学んだことは、人の話をよく聞いてコミュニケーションをとることの大切さ。面接では、相手が何を聞きたいのか、それに対してどう返答すべきかをきちんと考えながら話すことが重要です。一方的に考えてきたことを話すだけでは、自分がどんな人間かをわかってもらえません。就職部の方には最低週に1回、多い時は毎日、相談に乗っていただきました。面接対策の細かなアドバイスは実際の面接でとても役に立ちました。

将来は、製菓コンテストで賞をとることが目標です。また、甘いものが苦手な方でも食べられるようなケーキを作りたいと思っています。

Y 先輩へのアドバイス

就職活動中は色々な情報が入ってくると思いますが、他人に流され過ぎないようにすることが大切です。自分の意思をきちんと持って、最後まで諦めず頑張ってください。

大阪成蹊大学



教育学部第1期生として2018年3月に卒業し、現在小学校教員として勤務する牧野さん。日々の業務や、教員1年目で感じた想いなどについてお伺いしました。



牧野 智之さん
大阪成蹊大学 教育学部
教育学科 初等教育コース卒業
大阪市内立小松小学校 教諭

着任1年目で高学年のクラスを担当

現在、5年生のクラスを担当しています。朝は7時50分までに出勤して授業準備や職員会議を済ませた後、登校してきた児童たちと会話を交わし、そこからほぼ毎日6限まで授業があります。授業づくりは大変ですが、先輩の先生方のアドバイスを参考にしながら、空いた時間になるべくストックしています。1年目から高学年の担当ということでプレッシャーもありましたし、5年生は行事も多く、学びの内容も多様になりますので大変ですが、ある程度近い目線でコミュニケーションをとれる年齢でもあるので、毎日本当に楽しいですね。

児童たちへの働きかけは保護者にも伝わる

児童の保護者や家庭環境について把握することは重要です。初めての家庭訪問は、児童たちとまだ1ヶ月しか一緒に過ごせていない時期に行いましたが、保護者の方からは「男性の担任は初めてで不安」「1年目の先生で大丈夫？」などのお声をいただくこともありました。それ以降少しでもそうした不安を覆したい一心で、児童一人ひとりのノートに毎日コメントを書くようにしました。出来た所を褒めたり、「次はこうしてみたらどう？」と提案を書いたり。すると児童たちはそのコメントを喜んで家でも話していたようで、1学期最後の保護者懇談では「子どもから今まで以上に先生や学校の話聞くようになった」と言っていました。

大学時代の学びが今の授業づくりに生きている

在学中は「教育方法」のゼミで、授業の導入や発問の仕方について学んでいました。学部1期生だったこともあり、やりたいことを自由にやらせてもらえたと思います。写真やICTを活用した授業にも挑戦させていただきました。当時学んだことは現在も役に立っています。先日も算数の図形の授業の際、校内にある四角や三角の様々な物の写真をモニターに映し、クイズ形式で同じ形を探す、という導入の仕方をしました。児童たちが普段目にしてるものと関連づけることで、図形への理解をうまく促すことができました。意識しているのは、まず自分が楽しめる授業を作ること。自分が楽しめなければ、児童たちにも楽しんでもらうこともできません。教科書通りの内容だけではなく、児童の関心を誘うような豆知識を話したり、双方向の対話が生まれたりするような授業を心がけています。

現在は仕事をしながら、大阪成蹊大学大学院 教育学研究科にも通っています。日々の経験を踏まえながら学び続けて、教員としての幅を広げたいです。年数を重ねても、常に児童にとっての「+α」の働きかけを生み出し続けられる教員でいたいと思っています。

■ びわこ成蹊スポーツ大学



セレッソ大阪

松田 陸 選手

びわこ成蹊スポーツ大学
スポーツ学部 競技スポーツ学科 2014年卒業

1991年7月24日生まれ、大阪府出身。ポジションはDF。小学校1年生で地元クラブに入り、びわこ成蹊スポーツ大学卒業に至るまで、双子の弟・松田力選手と同じチームでプレーしてきました。本学在学中にFC東京の特別指定選手としてチーム入りし、卒業後そのままFC東京に加入。力選手と揃っての双子リリーガーの誕生は、本学でも当時一躍話題になりました。2016年には幼少期から応援していた地元大阪のセレッソ大阪へ移籍し、その年にリーグ戦全試合出場を果たしました。2017年、2018年もコンスタントに公式戦に出場し、今やチームに欠かせない存在となっている松田選手。今回はそんな松田選手に、びわこ成蹊スポーツ大学時代の思い出、今後の目標などについてお話を伺いました。

● 本学独占インタビュー

■ びわこ成蹊スポーツ大学に入学したきっかけは何だったのですか。

高校卒業時、僕も弟もプロチームからのオファーはなかったのですが、とにかく弟と一緒にサッカーを続けられるところに行きたいという思いがあったのです。そんな時、びわこ成蹊スポーツ大学から「ぜひ2人とも来てほしい」と声をかけていただき、入学を決めました。弟（現在アビスパ福岡で活躍中）とは仲が良く、今でも毎日のように連絡を取り合っています。同じチームでプレーしていた頃は喧嘩することもありましたけど、試合中に喧嘩するせいか、フォワードは弟に譲って、中学校ボランチ、高校センターバックと、僕のポジションはどんどん後ろに下がっていききました（笑）。

■ 大学サッカー部での思い出を教えてください。

とにかく自由にやらせてもらったという印象です。望月監督（※）はあまり口出しするほうではなく、選手たちの自主性を尊重してくれるタイプでした。自分たちの意見をどんどん取り入れて、やりたいサッカーをさせてもらったのがとても

良かったです。当時仲の良かったチームメイトとは今でも頻繁に近況報告をし合ったりしていますね。

サッカー中心の毎日で、授業の合間の空いた時間もほぼ自主練習に費やしていました。4年生ではゲームキャプテンを務めさせていただきました。当時200人以上の部員がいた中で、試合に出場する上位チームには11人しか入ることができません。そんな中でも一人ひとりがくさらずにしっかり日々活動していたので、ゲームキャプテンとしてとりまめる上で苦労するようなことはほとんどなかったです。※望月監督：サッカー部監督。2011 FIFA女子ワールドカップではコーチとして日本女子代表を指導し、チームを初優勝に導いた。

■ 4年生の時、FC東京の特別指定選手に登録されましたね。

はい、東京と滋賀を行き来する日々でした。プロと一緒に練習できたことで成長できましたし、自信もつきました。当時大学で大雨の中試合をした時、全員が悪いコンディションに左右されて思うようなプレーができないう中で、僕と弟だけは「普通にサッカーしていた」と他の部員たちから驚かされたことがありました。弟も同じ頃特別指定選手としてプロと一緒にやっていましたから、やはり何か違っていただけかもしれません。

■ 大学サッカーとプロサッカーの一番の違いは何だと思いますか。

まず、スピード感が違います。今大学生と練習試合をしても、こんなに差があるのか、自分も学生の頃はこんな風だったのか、と思いますね。あとはやはり、身体のメンテナンスの面。学生時代はとにかく長い時間ずっと練習したりしていましたが、プロは自分の身体の状態、データと注意深く向き合って、怪我をせずベストなコンディションを保つためのトレーニングを行う必要があります。20歳の頃とは身体も違いますね。

■ 母校・びわこ成蹊スポーツ大学への思いを教えてください。

新校舎の中央棟ができて、サッカーグラウンドもリニューアル

など、知らない間に色々充実していて驚きました。びわスポの一番良いところは「環境」だと思います。周りにはほぼ何もありませんが（笑）、だからこそ、雑音のない状態で自分のやりたいことだけに集中できる。自然も豊かで素晴らしいですよ。夏には友達と近江舞子の水泳場に泳ぎに行き行って楽しんでいました。

また、学校全体がアットホームで、誰とでも垣根なく過ごせる場所魅力だと思います。色々なクラブの学生と交流がありましたし、みんなお互いに声をかけあって情報交換していましたね。

後輩たちには、今の充実した環境で頑張ってもらいたい。大学4年間は自由な時間がたくさんあります。その時間をいかに自分の好きなこと、やるべきことに費やすか。明確な意図を持たずにただ遊ぶのではなく、目標を定め、それに向かって日々努力することが大切です。「4年間で楽しければいいや」という考えだけで過ごすことはおすすめしません。卒業した後の人生は長いですからね。将来のために、限られた時間を有意義に過ごしてほしいと思います。

■ 最後に、2018年を振り返っていかがですか。目標などがあれば教えてください。

1年を通してチームの状態は良かったと思います。自分としてはもっとアグレッシブに攻撃に参加したかったところがありますね。もちろん最初は優勝をめざしていましたが、残り5試合となった今はACL（＝アジアチャンピオンズリーグ）圏内に食い込むのが目標ですね。上下運動を繰り返すスタミナと1対1のディフェンス、このあたりの自分の強みをより精度高く持っていくつつ、活躍したいです。

今後の目標でいうと、引き続きセレッソで安定して試合に出られている現在の状態は保ちたい、その上でチームを上位にもっていけるよう努めつつ、日本代表をめざしたいと思っています。そのためには数字にこだわって、アシスト、ゴールに取り組んでいかないとはいけません。若く優秀な選手がどんどん出てきていますから、もっともっと頑張りたいと思います。

※このインタビューは2018年10月末に行われました。

愛媛FC 加入内定! 清川 流石 選手

～記者会見を開催!～



2018年11月5日（月）、J2愛媛FCに加入が内定したサッカー部DF清川流石（きよかわ すが）選手の加入内定記者会見が開かれました。

サッカー部では左サイドバックとして活躍し、ゲームキャプテンをつとめるなど主力としてチームを引っ張ってきた清川選手。実はクラブの地元、愛媛県出身で、中学校・高校の6年間は愛媛FCのジュニアユースに所属していました。清川選手は、「アカデミー時代から育ててもらったクラブに戻ることで嬉しかった」と語り、愛媛FCの児玉雄一強化部長は、「彼のサイドからスピードを生かした攻撃で、ゴールにつながるプレーを期待したい」と期待を語りました。会見には前年までJ2監督の佐々木則夫特別招聘教授も駆け付け、花束とともにエールを送りました。

清川選手は会見で、同じ愛媛出身でユースと本学の2歳先輩でもある曾根田稷選手（現在J2ヴァンフォーレ甲府で活躍中）の名前を挙げ、「がむしゃらなプレースタイルを目標にしている。Jの舞台で対戦したい」と語りました。また記者から今後の意気込みを聞かれ、「一日でも早くピッチに立って活躍し、見ている人の目に留まる選手になりたい」「日本代表に入れるように努力し、世界のトップレベルでプレーできるように頑張っていきます」と話しました。



▲左からサッカー部望月 聡監督、入口 豊学長、清川 流石選手、児玉 雄一強化部長、佐々木 則夫特別招聘教授



▲児玉 雄一強化部長と握手



▲愛媛のスポンサーを務める「株式会社えひめ飲料」のポンジュースで乾杯

照準は、世界へ。 大阪成蹊学園の活躍するアスリートたち

特集

Ⅱ 大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

創部短期間で快挙続々！

大阪成蹊学園では2012～2018年度にかけて9つの強化クラブを新設、2012年度に設置したスポーツ&カルチャーセンターを中心に強力な指導体制を築き、活動を行ってきました。その結果、各クラブが創部まもない時期からめざましい活躍を見せています。ここでは創部短期間で飛躍的な成長を遂げたクラブの成果をご紹介します。

陸上競技部 2012年創部



創部わずか5年でインカレ初優勝を果たしたほか、世界大会でも多く実績を残し、女子陸上界を牽引する選手が集います。

2015年

- 世界陸上競技選手権大会 4×400mR 日本代表
- ユニバーシアード競技大会 やり投 日本代表
- 日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ) 女子総合3位、多種目優勝部門優勝
- 国民体育大会 400m 優勝

2016年

- 日本学生陸上競技個人選手権大会(日本インカレ) 女子総合優勝・多種目優勝部門優勝
- 日本学生陸上競技個人選手権大会 走幅跳優勝
- 日本陸上競技選手権大会 400m・4×100mR 優勝
- 国民体育大会 400m 優勝
- 関西学生陸上競技対校選手権大会 女子総合優勝

2017年

- ユニバーシアード競技大会 4×100mR 銅メダル
- 日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ) 女子総合3位、多種目優勝部門優勝
- 日本学生陸上競技選手権大会 走幅跳 200m 優勝
- 静岡国際陸上競技大会 400m 優勝

2018年

- シンガポール・オープン2018 4×100mR 出場、優勝(大会新記録)
- 日本学生陸上競技個人選手権大会 400m 優勝
- 香港インターシティ陸上選手権大会 アンダー-20 200m 優勝

バントワーリング部 2012年創部

芸術性の高いスポーツ競技として近年注目を集めるバントワーリング。2017年には世界大会で表彰台に上がる快挙をおさめました。



2015年

- バントワーリング関西大会 金賞
- バントワーリング全国大会 金賞

2016年

- バントワーリング関西大会 金賞
- バントワーリング全国大会 金賞、ノードロップ賞

2017年

- 全日本バントワーリング選手権大会 アーティストック(男子シニアの部) 1位
- IBTFグランプリ大会 ソロトワール(男子シニアの部) 2位
- WBTFインターナショナルカップ ソロトワール(男子シニアの部) 3位、アーティストックトワール(女子シニアの部) 3位、アーティストックトワール(男子シニアの部) 4位、スリーパトン(女子シニアの部) 4位
- バントワーリング関西大会 金賞
- バントワーリング全国大会 金賞

2018年

- 世界バントワーリング選手権大会 フリースタイル個人(男子シニアの部)4位
- バントワーリング関西大会 金賞、1位
- バントワーリング全国大会 最優秀賞、金賞

バドミントン部 2015年創部



トップクラスの選手を輩出してきた胡山喬監督の指導のもと、創部4年でインカレ出場を達成。今後の活躍が期待されます。

2016年

- 関西学生バドミントン新人戦大会 シングルス3位

2017年

- 関西学生春季リーグ 女子2部へ昇格
- 関西学生秋季リーグ 男子2部へ昇格
- 大阪学生バドミントン新人戦大会 男子シングルス優勝、女子シングルス準優勝

2018年

- 関西学生春季リーグ 男子1部へ昇格
- 全日本学生バドミントン選手権大会(日本インカレ) 初出場

ソフトテニス部 2015年創部



創部1年目から西日本学生選手権などで活躍し、新星として注目を集めました。2018年2部に昇格、ステップアップを続けています。

2015年

- 関西学生ソフトテニス選手権大会 男子ダブルス3位
- 大阪学生ソフトテニス選手権大会 男子ダブルス優勝
- 西日本学生選手権大会 男子シングルス3位
- 大阪学生優勝大会 男子ダブルス優勝

2016年

- 全日本学生ソフトテニス選手権大会 大学対抗選手権大会 ベスト8
- 関西学生新人大会 男子ダブルス優勝、準優勝

2017年

- 西日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会 シングルス ベスト8
- 関西学生リーグ 3部昇格

2018年

- 西日本学生ソフトテニス選手権大会 大学対抗 ベスト8、ダブルス 準優勝
- 関西学生リーグ 2部昇格

各クラブの今後の活躍にご期待ください！

※掲載されている戦績は一部です。個人成績の選手名を割愛しています。

Ⅲ びわこ成蹊スポーツ大学

世界大会出場！

アルティメット部

カナダで開催された「WFDF2018世界ジュニアアルティメット選手権大会」に後藤風選手(2年)が出演。10試合出場、18得点、2アシストの活躍で、日本代表は第6位に入賞しました。

サッカー部(男子)

韓国で開催された「2018アジア大学サッカートーナメント」にU-19全日本大学選抜で選ばれた佐藤昂選手(1年)、藤松航矢選手(1年)が出演。チームは第3位に入賞しました。

バントワーリング

アメリカで開催された「第34回世界バントワーリング選手権大会」に田中絵里奈選手(2年)が、滋賀県草津市を拠点として活動するクラブチーム「GENESIS」の一員として出場し、第1位で金メダルを獲得しました。



学内報告会での様子▶
(前列左から)
後藤 風 選手、
田中 絵里奈 選手、
佐藤 昂 選手、
藤松 航矢 選手

初優勝・1部昇格!!

男子バレーボール部

2018年度関西学生秋季2部リーグ戦で優勝し、2003年創部以来初の1部昇格を果たしました。また、最優秀選手賞・ベストセッター賞に幸聖也選手(4年)、最優秀監督賞に岩切大知監督(4年)など、個人賞も受賞しました。



Ⅳ 大阪成蹊女子高等学校

陸上競技部

2018年8月25日(土)・26日(日)ヤンマーフィールド長居で開催された「第6回全国高等学校陸上競技選抜大会～サマーチャレンジカップ～」で、吉岡里紗さん(2年)が100mハードルで3位に入賞しました。



バドミントン部

2018年8月9日(木)～23日(木)に行なわれた「大阪高等学校総合体育大会」で学校対校の部で第5位入賞、シングルス3年生の部で優勝、ダブルス3年生の部で優勝しました。



Ⅴ 大阪成蹊学園

学園コーラス部 多数の受賞・華々しい活躍！

2012年に創部した大阪成蹊学園コーラス部。大学、短期大学、高等学校の学生と生徒からなる総部員数は現在62名です。大阪府合唱連盟会長・清原浩斗氏をはじめ、声楽家・安川裕子氏、プロピアニスト和泉真子氏、岩本千佳子氏の指導体制のもと、日々練習に取り組んでいます。大阪府合唱コンクール、久石譲コンサート、1千人の第九、全国高校野球選手権大会開会式・閉会式などに積極的に参加し、またNHK全国学校音楽コンクールや大阪府合唱コンクールなど数々のコンクールでも上位入賞を果たしています。2018年度は大阪府合唱コンクール高校部門を金賞1位で通過し、悲願の関西合唱コンクールへ駒を進めました。今後の活躍がますます期待されるクラブです。



近年の実績

2017年

- NHK全国学校音楽コンクール 奨励賞 ●大阪府合唱コンクール高校の部 金賞

2018年

- 第17回ヴォーカルアンサンブルコンテスト高校部門 アプリコット銀賞、ラズベリー銀賞、ルピナス銅賞
- NHK全国学校音楽コンクール 銀賞 ●大阪府合唱コンクール 金賞
- 関西合唱コンクール 銅賞

その他学内外で
コンサート等に多数出演

「歓びを届ける演奏」を夢見て コーラス部指揮者 安川 裕子

「歌は心のハーモニー」。皆で協力する姿勢、相手を思いやる気持ちと優しさを最も大切にするクラブでありたいと願っています。限られた時間の中で美しい演奏をめざすことはもちろんですが、部員一人ひとりの人間の成長を促し、お互いの個性を認めあえることを心



掛けています。技術面においては、美しい声づくりに欠かせない発声・体力・ハーモニー・リズム感を育むことが目標です。また部員各々が楽曲の中に意図されている内容を主体的に探求する気持ち、そして、さらに良い演奏に繋がるための向上心を常に持つように指導しています。

2018年、初めて関西大会出場校に選ばれたことは本当に大きな成果でした。今後は全国大会出場を視野に、部員、スタッフ、先生方と心を一つにして努力したいと思います。

仲間の存在が心強い

コーラス部(高校)部長 渡邊 真夕さん(2年)

2018年9月より部長をつとめています。先生から「部長になってほしい」と伝えられた時は嬉しさと同時に不安も覚えましたが、いつも励ましてくれる仲間の存在が本当に心強く、今はとにかく期待に応えたいという想いです。先輩方が残してくれたものを受け継ぎながら、そこに自分らしさも加えてクラブを引っ張り、学園コーラス部をさらに発展させていきたいです。



■ 大阪成蹊学園

第8回 大阪成蹊

全国アート&デザインコンペティション〈審査結果〉

theme 未来への発信 OSAKA SEIKEI ART & DESIGN COMPETITION 2018

ごあいさつ～審査を終えて～ 大阪成蹊大学 学長 武蔵野 實

今年度で8回目の開催となる「大阪成蹊全国アート&デザインコンペティション」の審査が行われ、各賞が決定いたしました。中学生の部549点、高校生の部1,105点の合計1,654点と大変多くのご応募をいただき、ありがとうございました。

今回も「未来への発信」というテーマにふさわしい、未来への希望を感じさせる作品や、新たな表現に挑戦した作品など、力作、秀作が揃い、本コンペティションを大いに盛り上げていただきました。ご指導いただきました中学校、高等学校の先生をはじめ多くの方々のご尽力に厚く感謝申し上げます。

中学生の部



大阪成蹊芸術大賞



▲A部門金賞



▼B部門金賞



▲毎日新聞社賞



▼大阪成蹊芸術準大賞

大阪成蹊芸術大賞	大阪市立新東淀中学校3年	原 つきのさん	【キリンが16頭】
大阪成蹊芸術準大賞	大阪市立大桐中学校1年	中川 舞琴さん	【未来を創るアーティスト】
毎日新聞社賞	西宮市立鳴尾中学校3年	鈴木 波音さん	【ずっと帰らなかったんだ】
A部門金賞 (イラストレーション マンガ・キャラクター)	守口市立樟風中学校3年	石澤 楓さん	【子供と動物による大規模植林計画】
B部門金賞 (美術)	熊本信愛女学院中学校2年	木村 瑠里さん	【Memory → Future】

■ 大阪成蹊短期大学

2018年度

高校生

ファッションデザイン画
コンテスト 審査結果

大阪成蹊短期大学 生活デザイン学科では、高校生の皆様の自由で豊かな発想による新しいアイデアを発掘すべく、「高校生ファッションデザイン画コンテスト」を毎年実施しています。2018年度は合計428作品の応募があり、このたび審査の結果、下記の作品をはじめとする27作品が入賞作品に決定しました。入賞作品は2018年12月16日(日)のオープンキャンパスで展示されました。また、2019年2月9日(土)に行われる生活デザイン学科の卒業制作コレクションにて授賞式が行われる予定です。



準グランプリ

神戸市立六甲アイランド高等学校1年
宮武 彩也花さん作品
「伝える」をテーマに電話などを
盛り込んだデザイン



グランプリ

岡山県立岡山南高等学校3年
瀬崎 莉佳さん作品
クモの巣をモチーフに独特の
世界観を表現

高校生の部



大阪成蹊芸術大賞



▼毎日新聞社賞



▲大阪成蹊芸術準大賞



▼A部門金賞



▼C部門金賞



▼D部門金賞



▼E部門金賞

▼B部門金賞

大阪成蹊芸術大賞	和歌山県立紀央館 高等学校3年	山本 妃奈さん	【個性の尊重】
大阪成蹊芸術準大賞	大阪府立鳳高等学校1年	有田 幸樹さん	【共存】
毎日新聞社賞	京都市立銅駝美術工芸 高等学校3年	並川 和夏さん	【手紙】
A部門金賞 (グラフィックデザイン・イラストレーション)	富山第一高等学校3年	吉塚 真弓さん	【未来生物】
B部門金賞 (マンガ・アニメーション)	京都市立銅駝美術工芸 高等学校3年	近藤 明日香さん	【エプロン】(映像作品)
C部門金賞 (写真)	山口県立下松高等学校2年	高松 志帆さん	【蒼い放浪犬】
D部門金賞 (ファッション・テキスタイル インテリア・プロダクトデザイン)	大阪成蹊女子高等学校3年	廣岡 舞さん	【MY】
E部門金賞 (美術・工芸(絵画・立体・工芸))	奈良大学附属高等学校3年	宮内 翔梧さん	【沈黙】

—大阪成蹊短期大学附属—
こみち幼稚園だより

おじいちゃん・
おばあちゃんと遊ぼう!

こみち幼稚園では2018年9月に、年長児のおじいちゃん・おばあちゃんを園に招待して一緒に色々な遊びを楽しむ行事を行いました。毎年秋に行っているこの行事、今年度はさらに、東井高野小学校区「はぐみネット」のコーディネーターの方のご協力のもと、地域の老人会や地区の見守り隊の方々にもご参加いただき、総勢40名の皆さんと共ににぎやかな時間を過ごしました。

当日は初めに園児たちが歌を披露し、自己紹介をしました。その後は皆で円になってじゃんけんあそびをして、折り紙やけん玉、お手玉、ゴムとび、こま、紙飛行機、めんこ、お相撲などそれぞれの遊びに分かれて、おじいちゃん・おばあちゃんたちと一緒に思いきり遊びました。

「おすもうやったで～」「折り紙たくさん作ってもらった」「ふね作ってもらってうれしかった」「紙飛行機いっぱい飛ばして楽しかった」「こままわし教えてもらった」「いっぱい遊んでもらって楽しかった。もっと遊びたかった」などあちこちから声が上がり、子どもたちは大変楽しんだようでした。また最後には、一日のお礼に子どもたちからお手製の「しおり」を皆さんにプレゼントしました。

こみち幼稚園では今後も地域とのつながりを大切に、様々な取り組みを行ってまいります。